



KUSHI INSTITUTE INTERNATIONAL
KUSHI MACROBIOTICS INTERNATIONAL

2015年1月6日

各 位

訃報

米国法人 KUSHI INSTITUTE INTERNATIONAL 会長である久司道夫（享年 89 歳）が、2014 年 12 月 28 日未明、膵臓癌のため米国ボストン市内の病院で逝去いたしました。ここに謹んでお知らせいたしますとともに、故人の遺志により、葬儀につきましては、近親者のみにて執り行われましたことをご報告いたします。

記

1. 葬儀告別式 故人の遺志により近親者のみで執り行われました。
なお、日本における「お別れの会」を予定しておりますが、場所、時間等の詳細につきましては、あらためてご連絡申し上げます。
2. 連絡先
KUSHI INSTITUTE INTERNATIONAL
KUSHI MACROBIOTICS INTERNATIONAL
Vice President Midori Kushi
288 Washington ST, #365 Brookline, MA 02445 USA

KUSHI INSTITUTE INTERNATIONAL 東京連絡先
KUSHI MACROBIOTICS INTERNATIONAL 東京連絡先
久司正夫・金久保宏高
〒150-6018
東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 ガーデンプレイスタワー18階
info@kushimacrobiotics.com

久司道夫のオフィシャルサイト
<http://www.kushimacrobiotics.com/>

久司道夫の略年譜につきましては、上記オフィシャルサイトにてご確認くださいませようお願い申し上げます。

略 歴

1926年5月和歌山県粉河町に生まれる。東京大学法学部政治学科卒業、同大学院修了。第二次世界大戦の惨劇を目にしたことから世界平和の為の世界政府、世界連邦設立の可能性について研究する。キリスト教の指導者賀川豊彦、東大総長南原繁、法学部教授堀豊彦、及び世界政府協会ジョージ・オーサワ（桜沢如一）らに師事。1949年11月渡米。世界連邦設立に関する研究を発展させるためコロンビア大学大学院政治学科で研究。在学中にはヨーロッパ諸国を訪問、また世界平和に関する問題を解決するべくノーマン・カズンズ、アルベルト・アインシュタイン、トーマス・マン、アプトン・シンクレアその他思想界の人々の卓見を仰ぐが、後に政治的手段による解決では世界の平和と全人類の幸福を達成するに至らないと確信する。ニューヨーク五番街とタイムズ・スクエアに立ち、自問と執拗なまでの人間観察の後に、平和問題は政治機構を超えて人類を健康と平和な人間性に進化させることが最も大切であることを確認。そのためには環境と食物を正すことが必要であることを発見し、各国の食文化、東洋、西洋の伝統食などを検討し始める。その中で東洋思想と西洋思想の融合に基づいた人間の生き方、宇宙観を基礎として世界の食形態を大きく修正する努力に生涯かけることを決意する。

その後、1951年に渡米したアヴェリーヌ夫人（1923－2001年）と共に穀菜食を中心とするクシマクロビオティック標準食を編成し、自然食、オーガニック農業、各種代替医学、鍼灸、指圧、手のひら療法、瞑想、漢方等の東洋の伝統医学と共にこれを国際化するため、約60年に渡り全米を中心とした教育啓蒙活動を精力的に行ってきた。

二人の起こしたムーブメントはアメリカの自然食やオーガニックフード運動を引き起こし、今までに多くの優秀な生産者、メーカー、自然食品店を鼓舞し発展普及させている。

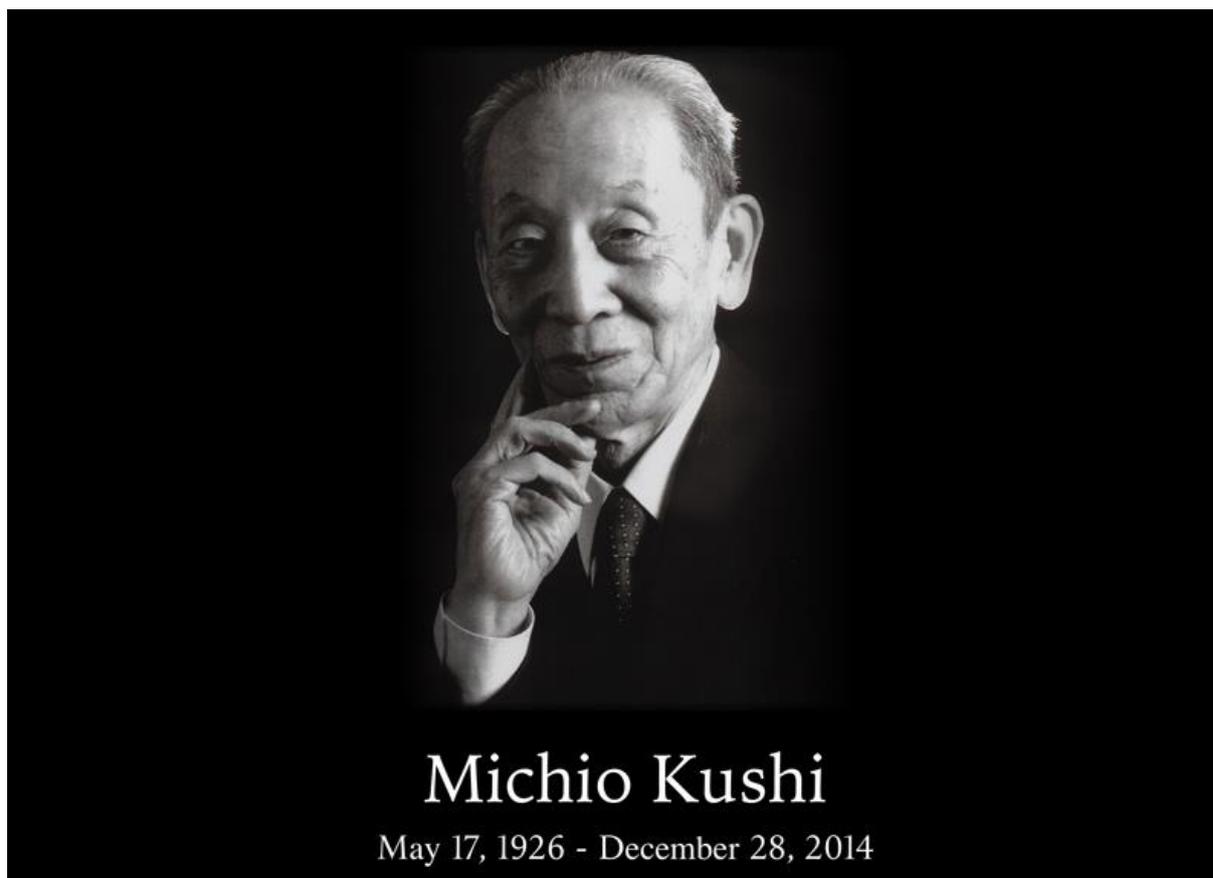
その活動はアメリカ、カナダの主要都市のみならず、ヨーロッパのすべての国々、アジアの数ヶ国におよび、年に数百の講演会、セミナー、研修会等を各地で展開する。日本では2000年より米国久司学院（Kushi Institute）の料理講座KHIXが開設し（2014年よりKMCCという名称でプログラムを再編成）、多くの人々がクシマクロビオティック理論と料理法を学んでいる。

久司の英文著作は、80冊以上、小冊子は数十冊が米国出版社から出版され、多くが数ヶ国語に訳され欧米各地に普及している。クシマクロビオティクスにより各種の病気から回復した欧米人は数万に上り、その中には医学的に不治の病気も多数含まれるため、ハーバード大学医学部の代替医学研究、サウスカロライナ大学公共健康部門その他の大学研究機関の研究対象になっている。また国連ではその職員有志達が国際マクロビオティック協会を組織している。

1995年、国連著作家協会より優秀賞を授与。及び「米国の食生活改善に多大な功績があった」としてロードアイランド上院より表彰状を授与される。

同年、世界数十拠点にチェーンを持つ高級ホテル“リッツカールトン”がクシヘルスマニューを導入する。1997年、ベルギーアントワープ市より「エコロジーと自然の理に叶った生活様式と食生活による健康に貢献した」として表彰される。1999年、米国国立歴史博物館の「スミソニアン」にクシファミリーコレクションとして過去50年の業績を代表する各種出版物や研究資料、食品および文化資料が今後継続して収集されアメリカの歴史資料として永久保存されることが決定する。同年6月、米国国会下院において久司の業績を公認する決議が行なわれる。2000年、「地球擁護協会」と関連するマサチューセッツ州の“ピースアベイ”より平和賞を贈呈される。

2004年、K I I (Kushi Institute International) が教育プログラムをライセンスし、K I J (Kushi Institute of Japan) が開設され、日本国内でのリーダー養成がスタートする。2007年、山口県岩国市出身、林みどりと結婚し、さらにクシマクロビオティックス、代替医学、自然食を通しての世界的教育を展開する。2008年、K M I (Kushi Macrobiotics International) 認定クシマクロビオティックスコンシェルジュ資格取得プログラムがスタート。2014年、2000年にスタートしたK I I Xプログラムが、K M C C (Kushi Macrobiotics Cooking Culture) という名称となり、プログラムが再編成される。



Copyright © 2015 Michio Kushi